

1. 平成29年度予算案のポイント(事業の推進・強化の方向性)

これまでの機関支援(22機関)に加え、以下の措置を講じ、WPI事業と連携しつつ、機関レベルのマネジメント改革の取組と一体的に推進することにより、研究力強化の取組を加速。

① プロジェクト重点支援(@5千万円(上限) × 3箇所)

- 拠点形成等の先導的な研究力強化の取組を加速するための重点支援を実施。
- 既採択機関が展開している一定の要件を満たす卓越した拠点(WPIの評価結果や認定基準等)を考慮し、選定。(※東北大学、京都大学、大阪大学の中から、WPIアカデミーの拠点として承認されたものを想定)
- WPI拠点で蓄積された拠点形成の経験・ノウハウを事業間連携により、本事業全体にフィードバック。

【経費の使途の例】

拠点の目的・戦略に応じて、WPIアカデミー国内外でのブランディング活動等と組み合わせて、以下のような研究環境の高度化に資するための使途が考えられる。

- ・若手研究者(RA、ポスドク等)の育成・支援に必要な経費
- ・世界トップレベル機関との共同研究の実施に必要な経費
- ・学会・シンポジウム等を企画・開催するための軽費
- ・研究支援人材等の雇用に必要な経費
- ・スペースの確保、設備の導入等に必要な経費 など

② 「研究大学コンソーシアム」形成支援(@940万円 × 1機関・既定経費内で措置)

※コンソーシアムの幹事機関として自然科学研究機構を想定

- 採択機関のネットワーク化を図り、機関の規模・特性に応じたURAの取組・成果発信・情報及び課題の共有化等を推進することにより、全国的な普及・定着化を促進。
- 人材バンク的機能、教育プログラム等を提供することにより、人材の流動性の向上・活躍を促進し、キャリアパス形成を支援。
- WPIアカデミーと連携し、相互の事業の成果・課題・情報の共有化、広く関係機関に発信。

2. プロジェクト重点支援の選定等のスキーム

【基本的な考え方】

○ 事業間の効率的な運営及び実質的な連携を念頭に置き、実施機関及び審査・評価者の負担軽減等も考慮し、審査・評価（フォローアップを含む）等の一体的運用を図る。

【当面のスケジュール・イメージ】

